

くにみ 議会だより

号外
平成30年5月29日

発行
●国見町議会
編集
●議会広報常任委員会
電話
●585-3295



最終日の観月台文化センターには全議員が出席しています

町民の皆さんと意見交換 議会報告懇談会報告

「議員定数についてどう 考えるのか」など

議会基本条例に基づき、4月26日から28日まで町内5会場で議会報告懇談会を開催し、町民74人が参加して意見交換を行いました。主な内容は次のとおりです。

議員定数・報酬の 検討結果について

国見町議会の議員定数と報酬は如何にあるべきか、議員全員で検討してきました。出された主な意見・結論は次のとおりです。

① 議会の使命は何か、という二つある。政策の最終決定（議決権の行使）と町政執行機関の監視・評価であるが、これらの使命を全うするには現状の12人が最低限必要だ。また、議事機関として、町民の多様な意見や考えを反映させるためには現状の人数（総務文教常任委員会、産業建設常任委員会各6人ずつ）は是非とも必要だ。

② 人口に比例した割合で定数を決めるといふ考えもあるが、福島

県町村議会の実態を見てみると必ずしもそうではない。大多数の議会は議会の機能を重視した議員定数を確保している。

③ 経費削減のために議員報酬をカットするという議論があるが、経費削減は予算全体の中で検討すべきである。旧伊達郡自治体の特別職（議員も含む）の報酬は、過去に特別職報酬等審議会で検討し決められた経緯がある。現在の報酬額は他と比較しても妥当な水準である。

結論

国見町議会の議員定数・報酬は、全会一致で現状維持とした。

議会への意見・要望

問

議員定数についてどう考えるのか。ある程度の人数は必要だと思うが、町民から見ると一般質問をしていないと必要なのではないかと思う。

答

一般質問の件数は他の町より少ないかもしれないが、それによって議員定数を決める考えは一般的ではないと思われる。

問

議員定数と報酬の検討は議員だけで行ったのか。

答

議員だけでなく資料や県内町村の実態を調査した結果、現状維持とした。



問

議会報告懇
談会への参加者

が少ない。議員と話を
する良い機会なので町
内会などに周知し、参
加者を増やす工夫が必
要ではないか。

答

町内会や関
係団体にチラシを
配布し呼びかけを
行うとともに、ポスタ
ーを町内各所に掲示し
ているが、なかなか集
まらない現状である。
参加しやすい工夫をし
ていきたい。



町への意見・要望

道の駅から観光施設に誘導する仕組みを

問

道の駅には多
くの来場者があ
る。道の駅から桃狩り
体験や観光施設に誘導
する仕組みを作ってほ
うか。

答

道の駅に來た
方に、ボランティア
ガイドが国見町を
PRし、リピーターに
なってもらえるよう
な仕組み作りは良いアイ
デアだと思う。昨年
の秋に道の駅を発着点
として文化財ボランテ
ィアガイドによる町内
巡りを開催し、大変好
評だった。

道の駅の管理負担金の内訳は

問

一般会計補正
予算で、道の駅
管理負担金3000万
円の内訳は何か。また、
財源は税金か。

答

想定外の来
場者があり、交
通誘導員の委託費や冷
蔵庫のリース料の支出
が多くなった。また、
電気・水道代やレスト
ラン等の消耗品費など
もかさんだ。公共公益
施設の部分は町の負担
となることから、実際
に算出すると3500
万円を超えるが、町と
国見まちづくり株式会
社が負担割合を算出し、
合意に達した金額であ
る。財源は、ふるさと
納税を原資とするふる
さと振興基金である。

国見ホイスコーレ事業とは何か

問

国見ホイス
コーレとはどのよ
うな事業なのか。95
0万円の予算は適切か。

答

国見ホイス
コーレは、「国
見プロジェクト学習」
、「国見カスタムラボ」
、「短期ホイスコーレ」
の3つのプログラムが
ある。若者が対話や自

主的な学びを通して国
見町への愛着を育む事
業である。県の地域創
生総合支援事業により
75%の補助金が交付
される。



農業ビジネス訓練所の運営は

問

くくみ農業ビ
ジネス訓練所は
どのような運営になる
のか。町外の人も研修
は可能か。

答

野菜の栽培
技術を学ぶ施
設である。長期、短期、
体験研修の3つの研修
がある。長期研修は、
新規就農を目指す方を
対象とし、短期研修は、

野菜栽培の基礎や実践
での技術研修を行う。
体験研修は、町内の親
子で楽しめる研修であ
る。長期、短期研修は
町内外の方でも受講で
きる。当面は町で運営
する。

新規就農者への町の支援は

問

農業ビジネス
訓練所の目的は
担い手の育成だが、技
術を取得し就農した場
合、町の支援はあるか。

答

新規就農者に
対し、一定要件
を満たせば、農業経営
開始に必要な資金とし
て上限150万円の支
援制度がある。また、
70万円を限度とする
貸付金制度もある。

消費税、農林水産業費減額の理由は

問

平成30年度
予算で前年度と
比較して消費税、農林
水産業費が大きく減額
した理由は何か。

答

消費税には

除染対策の費用も含ま
れており、除染が縮小
したことが主な理由で
ある。消防施設等の予
算はほぼ変わらない。

空き家対策の成果は

問

町には空き家
は何戸あるのか。
その対策の成果はある
のか。

答

約180戸
ある。町では平
成27年12月に条例を
制定しているが、利活
用されたものや解体さ
れた空き家はない。

開催地区と参加者数

4月26日	小坂	28人
	森江野	15人
4月27日	大枝	8人
	大木戸	3人
4月28日	藤田	20人